

●綾川町将来人口の展望検討ケース（平成72年（2060）年までの将来人口の推計方法）

資料1

項目	出生・死亡【自然増減】 に係る視点	移動（転入・転出）【社会増減】 に係る視点	備考
■ケース1 《社人研準拠+出生率上昇+移動率均衡》 ※県推計パターン③と同じ仮定	■出生 （合計特殊出生率が上昇） ・出生については、 <u>国の「長期ビジョン」と同様の合計特殊出生率とする。</u> ・平成32（2020）年：1.6程度 ・平成42（2030）年：1.8程度 ・ <u>平成52（2040）年：2.07程度</u> ■死亡 （社人研推計と同じ） ・死亡については、社人研推計と同様の「生存率」とする。	■移動率 （5年毎の移動率） ・ <u>平成32（2020）年にかけて均衡し、以降は均衡状態で推移する。（社会増減が止まる）</u> ・平成22（2010）年～平成27（2015）年：社人研の移動率とする。 ・平成27（2010）年～平成32（2015）年：移動率が均衡する。 ・以降、5年毎の移動率は均衡状態で推移	■総人口推計結果 ・平成32（2020）年：22,468人 ・平成42（2030）年：20,617人 ・平成52（2040）年：18,838人 ・平成62（2050）年：17,217人 ・ <u>平成72（2060）年：16,030人</u> （約16,000人）
■ケース2 《社人研準拠+出生率上昇+移動率一定程度収束》 ※県推計パターン②と同じ仮定	■ケース1と同じ	■移動率 （5年毎の移動率） ・ <u>平成32（2020）年にかけて0.5倍に縮小し、以降は一定値で推移する。（社会増減が縮小する）</u> ・平成22（2010）年～平成27（2015）年：社人研の移動率とする。 ・平成27（2010）年～平成32（2015）年：社人研の移動率の0.5倍に縮小する。 ・以降、5年毎の移動率は上記の一定値で推移	■総人口推計結果 ・平成32（2020）年：22,404人 ・平成42（2030）年：20,369人 ・平成52（2040）年：18,365人 ・平成62（2050）年：16,458人 ・ <u>平成72（2060）年：14,958人</u> （約15,000人）
■ケース3 《社人研準拠+出生率上昇》	■ケース1と同じ	■移動率 （5年毎の移動率） ・ <u>移動（転入・転出）については、社人研推計と同様の「移動率」とする。</u> ※移動率は今後一定程度縮小するが、検討ケース2と比較すると転出超過が多い状態が続く。	■総人口推計結果 ・平成32（2020）年：22,341人 ・平成42（2030）年：20,135人 ・平成52（2040）年：17,949人 ・平成62（2050）年：15,820人 ・ <u>平成72（2060）年：14,047人</u> （約14,000人）
■ケース4 《社人研準拠+出生率上昇+移動率均衡+転入》	■ケース1と同じ	■移動率 （5年毎の移動率）（※ケース1と同じ） ・ <u>なお、新たに平成26年と同様の年間52人の転入を見込む。</u> ※平成32（2020）年～平成37（2025）年の5年間で260人（52人×5年間）の転入を見込む。 以降、同様に5年間で260人の転入を見込む。	■総人口推計結果 ・平成32（2020）年：22,468人 ・平成42（2030）年：21,208人 ・平成52（2040）年：20,127人 ・平成62（2050）年：19,278人 ・ <u>平成72（2060）年：18,992人</u> （約19,000人）
■ケース5 《社人研準拠+出生率上昇+移動率均衡+転入》	■ケース1と同じ	■移動率 （5年毎の移動率）（※ケース1と同じ） ・ <u>なお、新たに平成26年と同様の転入・転出の状態から20～29歳代の転出を半減させ、全体で年間80人の転入を見込む。</u> ※平成32（2020）年～平成37（2025）年の5年間で400人（80人×5年間）の転入を見込む。 以降、同様に5年間で400人の転入を見込む。	■総人口推計結果 ・平成32（2020）年：22,468人 ・平成42（2030）年：21,509人 ・平成52（2040）年：20,766人 ・平成62（2050）年：20,275人 ・ <u>平成72（2060）年：20,352人</u> （約20,400人）
■ケース6 《社人研準拠+出生率上昇+移動率均衡+転入》	■ケース1と同じ	■移動率 （5年毎の移動率）（※ケース1と同じ） ・ <u>なお、新たに年間100人の転入を見込む。</u> ※平成32（2020）年～平成37（2025）年の5年間で500人（100人×5年間）の転入を見込む。 以降、同様に5年間で500人の転入を見込む。	■総人口推計結果 ・平成32（2020）年：22,468人 ・平成42（2030）年：21,753人 ・平成52（2040）年：21,316人 ・平成62（2050）年：21,176人 ・ <u>平成72（2060）年：21,716人</u> （約21,700人）
■参考 《社人研準拠》	■出生及び死亡 については、平成22（2010）年の傾向が継続する（現状傾向で推移）。 ・合計特殊出生率 ・平成32（2020）年：1.41程度 ・平成42（2030）年：1.39程度 ・平成52（2040）年：1.39程度 ※ <u>合計特殊出生率が2.07に回復しない状態が継続する。</u>	■移動率 （5年毎の移動率） ・移動率は今後一定程度縮小する。	■総人口推計結果 ・平成32（2020）年：22,267人 ・平成42（2030）年：19,747人 ・平成52（2040）年：17,069人 ・平成62（2050）年：14,439人 ・ <u>平成72（2060）年：12,172人</u> （約12,200人）

検討ケース4～6における社会移動（転入増加）の考え方

平成26年における転入・転出者数

①綾川町への転入数（平成26年） 単位：人

項目	総数	男	女
総数	650	330	320
0～9歳	89	43	46
10～19歳	47	24	23
20～29歳	180	87	93
30～39歳	163	83	80
40～49歳	74	41	33
50～59歳	43	23	20
60歳以上	54	29	25
不詳/その他	0	0	0

資料：住民基本台帳人口移動報告

②綾川町への転出数（平成26年） 単位：人

項目	総数	男	女
総数	599	323	276
0～9歳	52	29	23
10～19歳	49	25	24
20～29歳	235	130	105
30～39歳	111	58	53
40～49歳	59	34	25
50～59歳	45	23	22
60歳以上	47	23	24
不詳/その他	1	1	0

資料：住民基本台帳人口移動報告

=①-②



綾川町への転入超過数（平成26年） 単位：人

項目	総数	男	女
総数	51	7	44
0～9歳	37	14	23
10～19歳	-2	-1	-1
20～29歳	-55	-43	-12
30～39歳	52	25	27
40～49歳	15	7	8
50～59歳	-2	0	-2
60歳以上	7	6	1
不詳/その他	-1	-1	0

資料：住民基本台帳人口移動報告

ケース4における転入数

「綾川町への転入超過数（平成26年）」の転入・転出の動向に着目し、同じように年間52人（不詳を除く）の転入を想定する。

綾川町への転入超過数（平成26年） 単位：人

項目	総数	男	女
総数	52	8	44
0～9歳	37	14	23
10～19歳	-2	-1	-1
20～29歳	-55	-43	-12
30～39歳	52	25	27
40～49歳	15	7	8
50～59歳	-2	0	-2
60歳以上	7	6	1

5年間
×5

単位：人（5年間）

項目	総数	男	女
総数	260	40	220
0～9歳	185	70	115
10～19歳	-10	-5	-5
20～29歳	-275	-215	-60
30～39歳	260	125	135
40～49歳	75	35	40
50～59歳	-10	0	-10
60歳以上	35	30	5

5歳階級
に区分

5歳階級別の綾川町への転入超過数（5年間） 単位：人（5年間）

項目	男	女	項目	男	女
総数	40	220			
0～4歳	35	58	5～9歳	35	57
10～14歳	-3	-3	15～19歳	-2	-2
20～24歳	-108	-30	25～29歳	-107	-30
30～34歳	63	68	35～39歳	62	67
40～44歳	18	20	45～49歳	17	20
50～54歳	0	-5	55～59歳	0	-5
60～64歳	15	3	65～69歳	15	2

※70歳以上については、考慮しないこととする。

ケース5における転入数

「綾川町への転入超過数（平成26年）」の転入・転出の動向に着目し、同様の転入を想定する。ただし、20～29歳については、転入超過が半減すると考え、年間80人の転入を想定する。

綾川町への転入超過数（平成26年） 単位：人

項目	総数	男	女
総数	52	8	44
0～9歳	37	14	23
10～19歳	-2	-1	-1
20～29歳	-55	-43	-12
30～39歳	52	25	27
40～49歳	15	7	8
50～59歳	-2	0	-2
60歳以上	7	6	1

20～29歳
の転入が
半減する

単位：人

項目	総数	男	女
総数	80	30	50
0～9歳	37	14	23
10～19歳	-2	-1	-1
20～29歳	-27	-21	-6
30～39歳	52	25	27
40～49歳	15	7	8
50～59歳	-2	0	-2
60歳以上	7	6	1

5年間
×5

単位：人（5年間）

項目	総数	男	女
総数	400	150	250
0～9歳	185	70	115
10～19歳	-10	-5	-5
20～29歳	-135	-105	-30
30～39歳	260	125	135
40～49歳	75	35	40
50～59歳	-10	0	-10
60歳以上	35	30	5

5歳階級
に区分

5歳階級別の綾川町への転入超過数（5年間） 単位：人（5年間）

項目	男	女	項目	男	女
総数	150	250			
0～4歳	35	58	5～9歳	35	57
10～14歳	-3	-3	15～19歳	-2	-2
20～24歳	-53	-15	25～29歳	-52	-15
30～34歳	63	68	35～39歳	62	67
40～44歳	18	20	45～49歳	17	20
50～54歳	0	-5	55～59歳	0	-5
60～64歳	15	3	65～69歳	15	2

※70歳以上については、考慮しないこととする。

ケース6における転入数

転入者は年間100名を想定する。なお、年代別の転入数は、「綾川町への転入超過数（平成26年）」の転入・転出の動向を参考とし、平成26年の値に1.92（=100人/52人）を乗じることとする。

綾川町への転入超過数（平成26年） 単位：人

項目	総数	男	女
総数	52	8	44
0～9歳	37	14	23
10～19歳	-2	-1	-1
20～29歳	-55	-43	-12
30～39歳	52	25	27
40～49歳	15	7	8
50～59歳	-2	0	-2
60歳以上	7	6	1

×1.92

年間100人の転入見込内訳 単位：人

項目	総数	男	女
総数	100	15	85
0～9歳	71	27	44
10～19歳	-4	-2	-2
20～29歳	-106	-83	-23
30～39歳	100	48	52
40～49歳	29	13	16
50～59歳	-4	0	-4
60歳以上	14	12	2

5年間
×5

単位：人（5年間）

項目	総数	男	女
総数	500	75	425
0～9歳	355	135	220
10～19歳	-20	-10	-10
20～29歳	-530	-415	-115
30～39歳	500	240	260
40～49歳	145	65	80
50～59歳	-20	0	-20
60歳以上	70	60	10

5歳階級
に区分

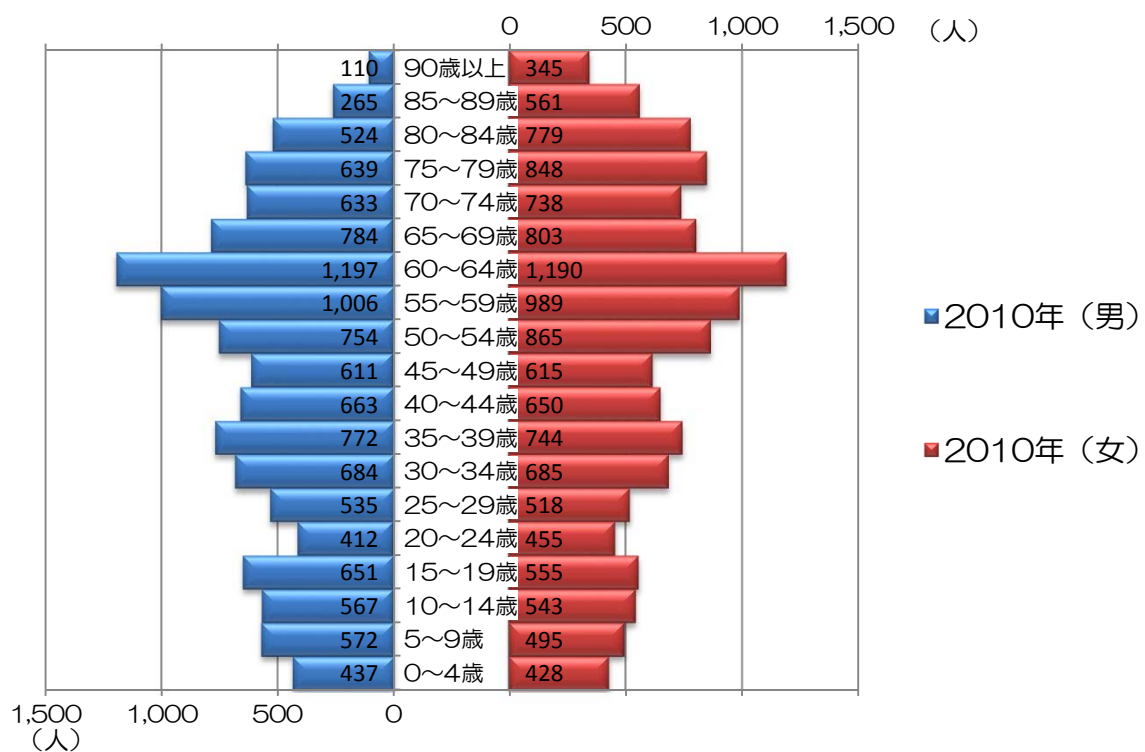
5歳階級別の綾川町への転入超過数（5年間） 単位：人（5年間）

項目	男	女	項目	男	女
総数	75	425			
0～4歳	68	110	5～9歳	67	110
10～14歳	-5	-5	15～19歳	-5	-5
20～24歳	-208	-58	25～29歳	-207	-57
30～34歳	120	130	35～39歳	120	130
40～44歳	33	40	45～49歳	32	40
50～54歳	0	-10	55～59歳	0	-10
60～64歳	30	5	65～69歳	30	5

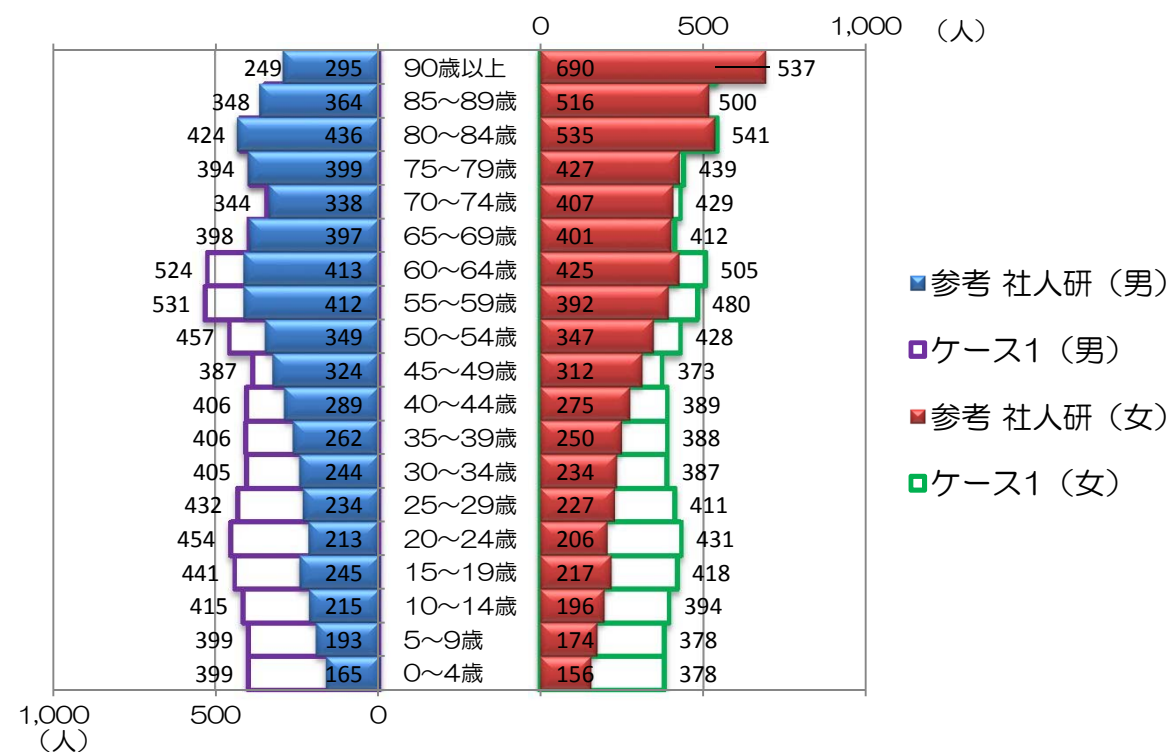
※70歳以上については、考慮しないこととする。

四捨五入の関係で、女性の40～49歳を16人とした。

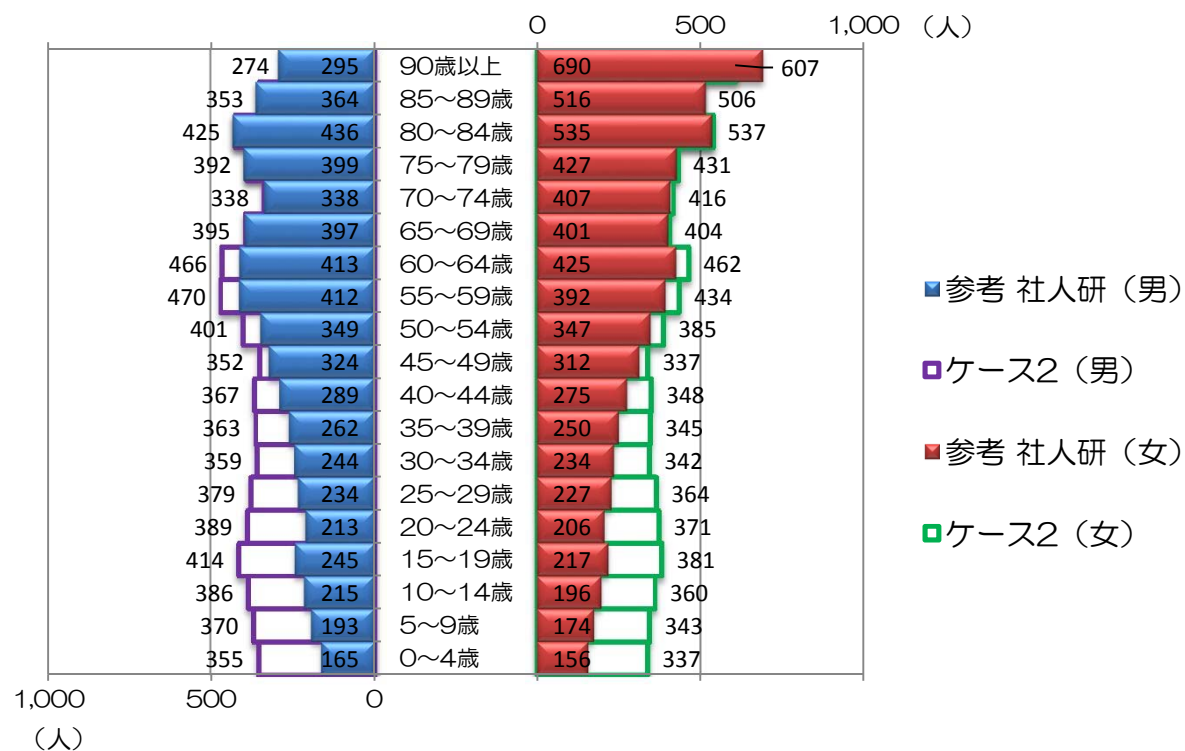
人口ピラミッド：現状（平成22（2010）年）



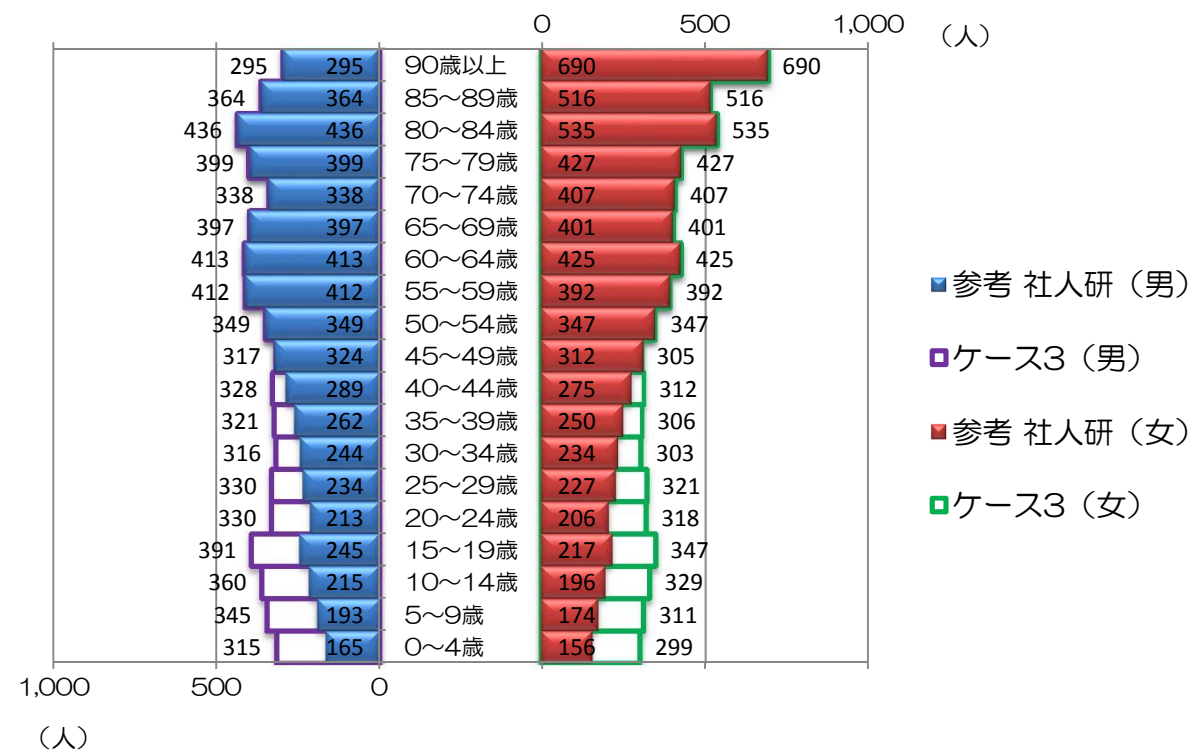
人口ピラミッド：ケース1（平成72（2060）年）



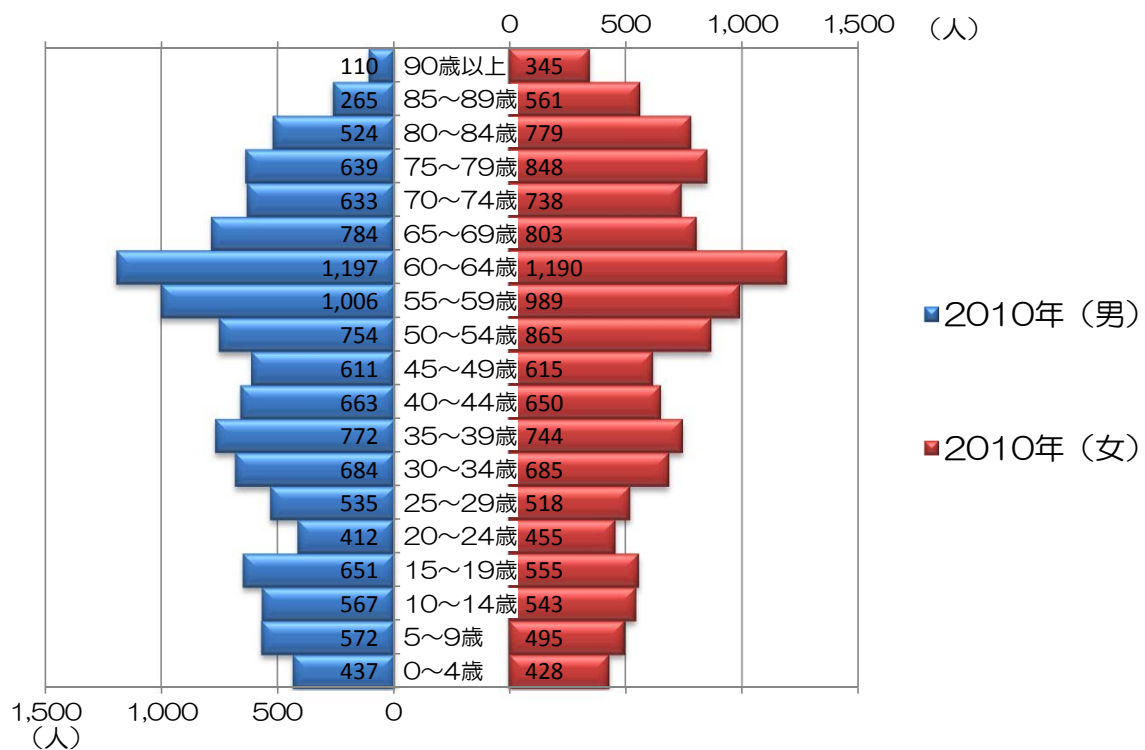
人口ピラミッド：ケース2（平成72（2060）年）



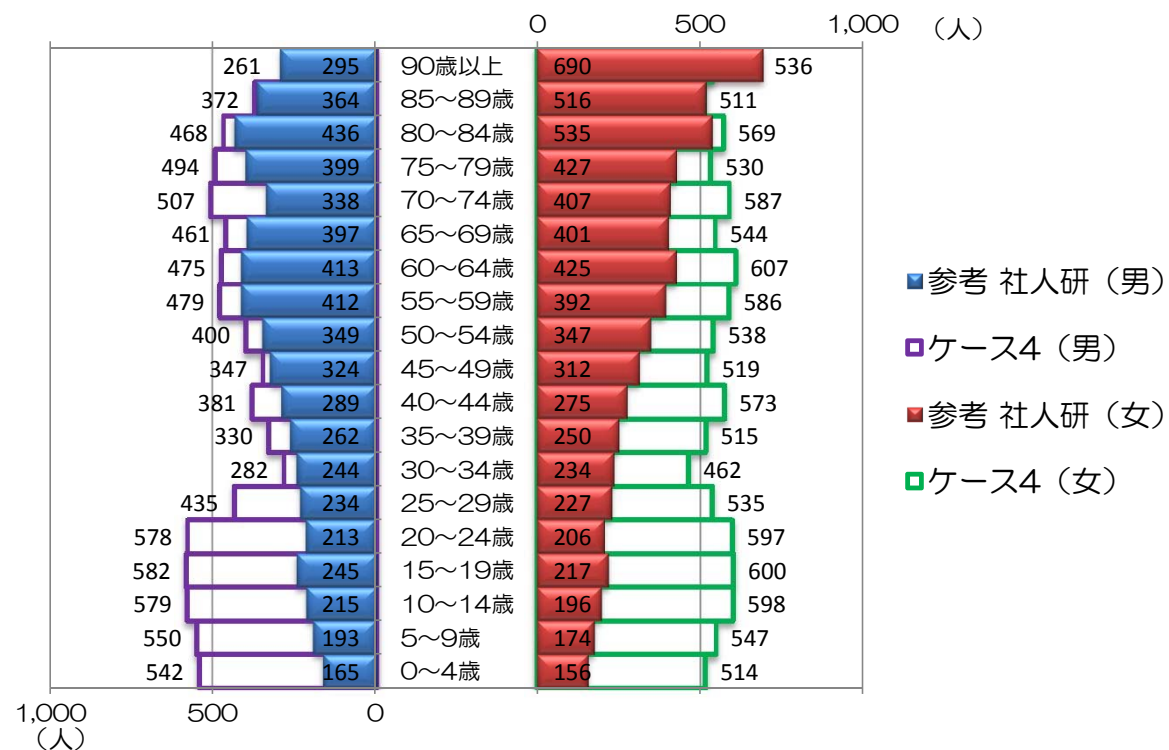
人口ピラミッド：ケース3（平成72（2060）年）



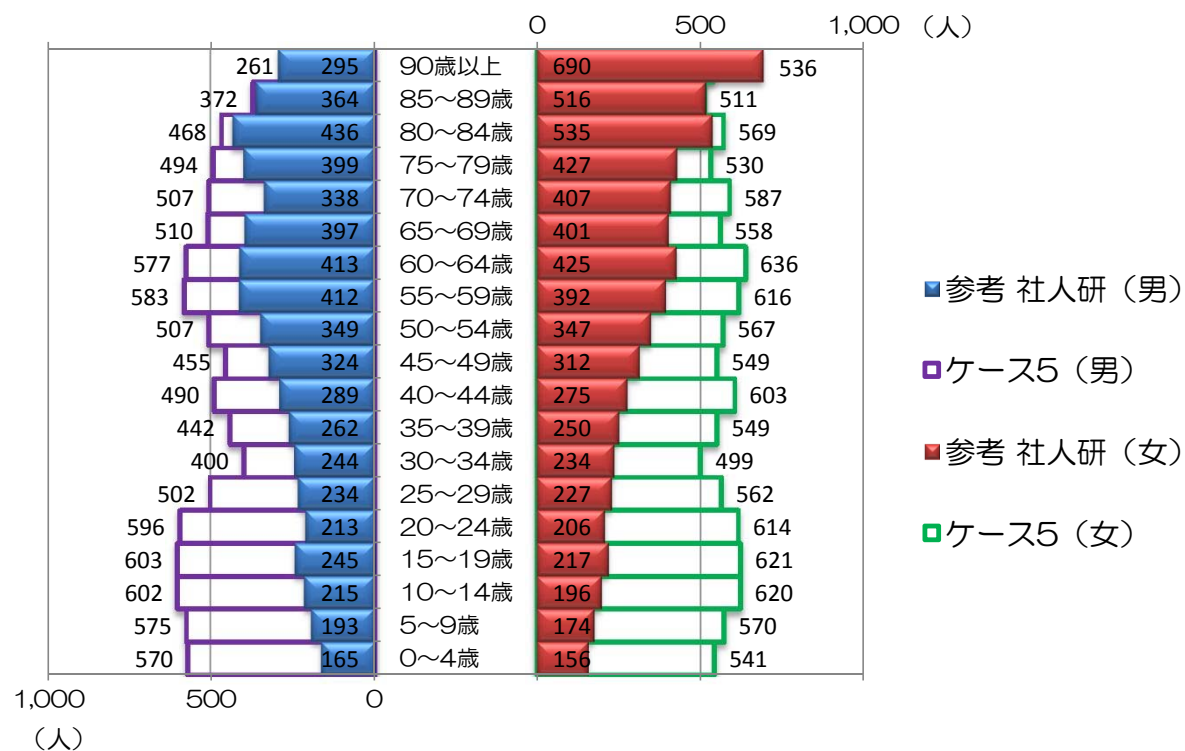
人口ピラミッド：現状（平成22（2010）年）



人口ピラミッド：ケース4（平成72（2060）年）



人口ピラミッド：ケース5（平成72（2060）年）



人口ピラミッド：ケース6（平成72（2060）年）

